

## 診療経験カード

神戸大学医学部医学科 6 年次臨床実習 3

実習先 ( )

整理番号 ( ) 氏名 ( )

経験した症候に「○」をつけること。

経験すべき症候	症例を担当	間接的経験
F-1-1) 発熱		
F-1-2) 全身倦怠感		
F-1-3) 食思(欲)不振		
F-1-4) 体重減少・体重増加		
F-1-5) ショック		
F-1-6) 心停止		
F-1-7) 意識障害・失神		
F-1-8) けいれん		
F-1-9) めまい		
F-1-10) 脱水		
F-1-11) 浮腫		
F-1-12) 発疹		
F-1-13) 咳・痰		
F-1-14) 血痰・喀血		
F-1-15) 呼吸困難		
F-1-16) 胸痛		
F-1-17) 動悸		
F-1-18) 胸水		
F-1-19) 嚥下困難・障害		
F-1-20) 腹痛		
F-1-21) 悪心・嘔吐		
F-1-22) 吐血・下血		
F-1-23) 便秘・下痢		
F-1-24) 黄疸		
F-1-25) 腹部膨隆・腫瘤		
F-1-26) 貧血		
F-1-27) リンパ節腫脹		
F-1-28) 尿量・排尿の異常		
F-1-29) 血尿・蛋白タンパク尿		
F-1-30) 月経異常		
F-1-31) 不安・抑うつ		
F-1-32) もの忘れ		
F-1-33) 頭痛		
F-1-34) 運動麻痺・筋力低下		
F-1-35) 腰背部痛		
F-1-36) 関節痛・関節腫脹		
F-1-37) 外傷・熱傷		

### 【実習指導医の方へ】

診療経験カードは実習で学生がどの程度症候・手技を経験しているのかを客観的に調査・集計を行なうための資料として用います(成績評価には用いません)。

診療経験カードに記載されております症候・手技の全てを学生に経験させる必要はございません。

経験した手技に「○」をつけること。

G-3 基本的臨床手技	実施	介助	見学
<b>G-3-1) 一般手技</b>			
①体位交換、移送できる。			
②皮膚消毒できる。			
③外用薬の貼付・塗布できる。			
④気道内吸引、ネブライザーを実施できる。			
⑤静脈採血を実施できる。			
⑥末梢静脈の血管確保を実施できる。			
⑦中心静脈カテーテル挿入を見学し、介助する。			
⑧動脈血採血・動脈ラインの確保を見学し、介助			
⑨腰椎穿刺を見学し、介助			
⑩胃管の挿入と抜去			
⑪尿道カテーテルの挿入と抜去			
⑫ドレーンの挿入と抜去を見学し、介助			
⑬注射（皮内、皮下、筋肉、静脈内）を実施			
⑭全身麻酔、局所麻酔、輸血を見学し、介助			
⑮眼球に直接触れる治療を見学し、介助			
⑯診療録（カルテ）を作成			
⑰各種診断書・検案書・証明書の作成を見学し、介助できる。			
<b>G-3-2) 検査手技</b>			
①尿検査（尿沈渣を含む）を実施できる。			
②末梢血塗抹標本を作成し、観察できる。			
③微生物学検査（Gram染色を含む）を実施できる。			
④妊娠反応検査を実施できる。			
⑤血液型判定を実施できる。			
⑥視力、視野、聴力、平衡機能検査を実施できる。			
⑦12誘導心電図を記録できる。			
⑧脳波検査の記録ができる。			
⑨眼球に直接触れる検査を見学し、介助できる。			
⑩心臓、腹部の超音波検査を実施できる。			
⑪経皮的酸素飽和度を測定できる。			
⑫エックス線撮影を見学し、介助できる。			
⑬コンピュータ断層撮影<CT>を見学し、介助できる。			
⑭磁気共鳴画像法<MRI>を見学し、介助できる。			
⑮核医学検査、内視鏡検査を見学し、介助できる。			
⑯内視鏡検査を見学し、介助できる。			
<b>G-3-3) 外科手技</b>			
①無菌操作を実施できる。			
②手術や手技のための手洗いができる。			
③手術室におけるガウンテクニックができる。			
④基本的な縫合と抜糸ができる。			
⑤創の消毒やガーゼ交換ができる。			
⑥手術、術前・術中・術後管理を見学し、介助できる。			
<b>G-3-4) 救命処置</b>			
①身体徴候、バイタルサインから緊急性の高い状況であることを判断できる。			
②一次救命処置を実施できる。			
③二次救命処置を含む緊急性の高い患者の初期対応に可能な範囲で参加する。			